

◎乳腺科後期研修プログラム

複十字病院乳腺科では、乳癌を中心とした乳腺疾患の診断から治療まで（終末期医療も含む）をトータルに行っております。当科は乳腺外科中心の科で、主に乳癌手術（乳房温存手術のほか全例が内視鏡手術）とセンチネルリンパ節生検については症例数も多く、十分な研修が可能です。その他、乳癌検診（健康管理センターと連携；年間3000例以上）、MMG・CT・MRIの読影（放射線科との連携）、PET・骨シンチの読影（核医学科との連携）、超音波の読影（臨床検査科と連携）などの診断部門や、放射線治療（放射線科との連携）、抗癌剤治療（外来化学療法室と連携）、リンパ浮腫ケア（理学療法科と連携）、緩和ケア（緩和ケア科と連携）などの治療部門の研修が可能なシステムが構築されています。

当科は日本乳癌学会認定施設に指定されておりますことから、その修練カリキュラムに則った研修を行っており、最終的には日本乳癌学会「乳腺認定医」および「乳腺専門医」の取得を目標にしております。

また、院内・院外を問わず他の外科系の科と連携をして、「日本外科学会外科専門医」の取得が可能なカリキュラムを提供しております（複十字病院は日本外科学会指定施設です）。後期臨床研修1年目では、乳腺科を希望されたレジデントは乳腺科に所属しながら、主に他科へのローテーションを行い「外科専門医」を取得するのに必要な臨床経験を積んでいただきます。

後期臨床研修2・3年目は、乳腺外科を中心に、(表1)の2年間のカリキュラムで「乳腺認定医」取得のための修練を行います。つまり、「外科専門医」と「乳腺認定医」取得のための修練を平行して行っていきます。さらにもっと専門性を目指したい方のために、「乳腺専門医」取得のカリキュラムも用意されております(表2)。これらは、日本乳癌学会専門医制度のカリキュラムに則って作成されています。また、「マンモグラフィ読影認定医」の取得を目指しての研修も行っております。

当科は外科系の科で基本的領域診療科は外科ですが、産婦人科を除く基本的領域診療科であります内科（化学療法科と連携）や放射線診断・放射線治療（放射線科と連携）への対応も可能です。

また、認定医や専門医を目標としない研修も、随時受け付けております。乳腺診療に興味と熱意のあるレジデントの応募を期待しています。

(文責：武田)

(表1) 乳腺認定医制度修練カリキュラム

<p>1年目のカリキュラム</p> <p>診断：入院乳腺疾患患者の問診・病歴・視触診を見学。画像診断(MMG・ECHO・MRマンモ・乳腺CTなど)の読影会への参加。</p> <p>治療：乳癌手術の助手(標本整理の実際を含む)。局所麻酔下の乳腺手術の助手</p> <p>その他：抄読会において乳腺の解剖・生理および乳腺疾患の疫学・病理・バイオロジーなどの習得事項の定期的発表。</p>
<p>2年目のカリキュラム</p> <p>診断：入院乳腺疾患患者の問診・病歴・視触診を主治医とともに施行、画像診断の読影から術式決定を主治医と共に行う。SNBの助手。</p> <p>治療：乳癌手術・乳腺良性疾患手術の助手。術後の補助療法の決定を主治医と共に行う。</p> <p>その他：健康管理センターにおける乳癌検診への参加、術後の理学療法の見学、乳癌患者に対する緩和チームカンファレンスへの参加。抄読会において乳腺の解剖・生理および乳腺疾患の疫学・病理・バイオロジーなどの習得事項の定期的発表。学会・研究会への参加。</p>

(表 2) 乳腺専門医制度修練カリキュラム

<p>1年目のカリキュラム</p> <p>診断 :入院乳腺疾患患者の問診・病歴・視触診。画像診断(MMG・ECHO・MR マンモ・乳腺 CT など)の読影。</p> <p>治療 :乳癌手術の助手(標本整理の実際を含む)。局所麻酔下の乳腺手術の術者</p> <p>その他 :抄読会において乳腺の解剖・生理および乳腺疾患の疫学・病理・バイオロジーなどの習得事項の定期的発表。学会・研究会への参加。</p>
<p>2年目のカリキュラム</p> <p>診断 :入院乳腺疾患患者の問診・病歴・視触診を主治医として施行、画像診断の読影から術式決定を行う。SNB の術者。</p> <p>治療 :乳癌手術の助手、乳腺良性疾患手術の術者。術後の補助療法の決定を主治医として行う。</p> <p>その他 :健康管理センターにおける乳癌検診への参加、乳癌患者に対する緩和チームカンファレンスへの参加。抄読会において症例報告などの定期的発表。学会・研究会での発表。</p>
<p>3年目のカリキュラム</p> <p>診断 :外来乳腺疾患患者の問診・病歴・視触診、ABC・CNB などの適応決定と実施。SNB の実施。乳腺良性疾患の診断と治療方針の決定。</p> <p>治療 :乳癌手術の術者。術後補助療法の実施。術後患者のフォローアップ。</p> <p>その他 :健康管理センターにおける乳癌検診への参加、乳癌患者に対する緩和チームカンファレンスへの参加。抄読会において症例報告などの定期的発表。学会・研究会での発表。</p>
<p>4年目のカリキュラム</p> <p>診断 :外来乳腺疾患患者の問診・病歴・視触診、ABC・CNB などの適応決定と実施。外来乳腺疾患患者の総合診断を行い、術前化学療法を含めた治療方針の決定。</p> <p>治療 :乳癌手術の術者、乳腺内視鏡手術の助手。術後補助療法の実施。再発患者の治療方針の決定と実施。外来化療室担当。</p> <p>その他 :健康管理センターにおける乳癌検診の MMG・ECHO の二次読影。抄読会において総説などの定期的発表。学会・研究会での発表。</p>
<p>5年目のカリキュラム</p> <p>診断 :外来乳腺疾患患者の総合診断を行い、術前化学療法を含めた治療方針の決定。</p> <p>治療 :乳腺内視鏡手術の術者。EBM に基づいた治療方針の決定と実施。外来化療室担当。</p> <p>その他 :健康管理センターにおける健診患者の MMG・ECHO の二次読影と最終診断。セカンドオピニオンへの対応。抄読会において総説などの定期的発表。学会・研究会での発表。</p>